

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 岩美町立岩美西小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>

☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒681-0073

鳥取県岩美郡岩美町大谷2343

E-mail [iwamiwi-e@mailk.torikyo.ed.jp](mailto:iwamiwi-e@mailk.torikyo.ed.jp)

Website [www.torikyo.ed.jp/iwamiwi-e/](http://www.torikyo.ed.jp/iwamiwi-e/)

幼児児童生徒数 男子 80 名 女子 72 名 合計 152 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

山陰海岸ジオパークエリアにある当校は、「瞳かがやき 心はずませ 夢に向かって 本気でがんばる岩美西小っ子の育成」を学校教育目標として、ESDを、志をもってふるさとを愛する子を育てる教育として捉え、ESDの実践を通して、目標をもって自ら学ぶ子、感謝の気持ちを持ち、自分も友だちも大切にする子、規則正しく健康でたくましい子、地域に誇りをもち、地域とつながる子の育成を目標とした。

具体的には、「生き生きと活力ある学校」、「地域の良さや特色が輝く学校」「地域とともに歩む学校」、この3つの学校づくりを柱に、①人権に係わる学習、②国際理解学習に係わる学習、③環境教育、山陰海岸ジオパークに係わる学習、④伝統文化（地域交流）に関わる学習活動を行った。

### ①人権教育に係わる学習

人権教育参観日を設定し、全学年が人権について親子で学習する機会を設けた。内容としては、命の大切さの学習や、盲導犬ユーザーの方との学習、友達の意見を尊重し、一人一人を大切にする態度を養う学習などである。また、ハンセン病について学んだり、差別解消に取り組む方のお話を聞いたりすることで、差別解消に対する問題意識をもって自分たちの行動について考えることができた。

## ② 国際理解教育に関わる学習

異文化体験講座や、出張英語村などの学習で、外国の方を招き、生活や文化の違いを学習したり、英語の歌やゲームをしたりして交流を深めた。また、毎週木曜日は、給食の時間などA L Tとの交流を通して異文化交流を楽しんだり、火曜日と木曜日の外国語活動の時間にはA L Tとの交流の時間を多く設定したりした。

## ③ 環境教育や山陰海岸ジオパークに係る学習

サケの稚魚の飼育・小田川への放流を通して、環境問題にふれるとともに、ふるさとの山や川を保全することの大切さを学んだ。委員会の活動として、緑の羽根募金・ペットボトルのキャップ集めなどの取り組みを通じ、環境保全のために自分たちにできることを考えて行動した。また、町内外の山陰海岸ジオパークジオサイトの見学に行ったり、校区の大谷海岸にて「海の学校」を実施したりすることで、自然の美しさや生物の多様性だけでなく、大地の成り立ちと関係した人々の暮らしや歴史や文化にもふれることができた。

## ④ 伝統文化（地域交流）に係る学習

校区のお年寄りと昔遊び（こま、あやとり、かるた、めんこ、けん玉など）を通して交流を深めた。また、月に1回のクラブ活動の時間に、茶道の講師を招いて茶道の体験をし、その作法や先人の知恵や思いなどを学んだ。

### ① 盲導犬ユーザーの方との学習



### ② 異文化体験講座



### ③ 環境教育やジオパークに係る学習 (大谷海岸での海の学校)



### ④ 地域の方との昔遊び交流会



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー                 | <input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災           | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性            |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動          | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉         | <input type="checkbox"/> 10. 食育                   | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費             | <input type="checkbox"/> 12. 貧困              |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク        | <input checked="" type="checkbox"/> 14. ジオパーク     | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)  |  |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等      | <input type="checkbox"/> 17. その他( )               |   |  |

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

|   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力                | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度    | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度    |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )              |  |

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動     |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )       |  |

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

盲導犬についての学習「盲導犬とともに」（鳥取ハーネスの会）  
ハンセン病差別問題啓発資料「時の響きて」（天台宗人権啓発資料）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

それぞれの活動を、学校行事や学年の各教科の年間指導計画の中に位置づけ、１年間の指導の見通しをもって学習や活動を行っている。

例えば、さつまいもを植える活動においては、１、２年生の生活科の学習として行い、５月に苗植え、１０月に収穫、２月の交流会で一緒に食べるなど、年間を通して、地域の老人会や畑の先生方と交流をしながら学習を進めている。単に、苗植え、収穫という活動だけに留まらないように、苗植えの後は観察をして生長を感じられるようにしたり、来ていただいた方へのお礼の言葉を伝えたりと、活動を通して気づきをもつことや、他者との関わりを意識できるように留意している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校活性化委員会を設置し、年間を通して様々な教育活動に、地域の方の協力が得やすい体制を整えている。学校行事だけでなく、学習活動においても各学年で活性化委員会への協力依頼の希望をとったり、活性化委員会の方に連絡調整を担当してもらったりするなど、柔軟に連携を図れる体制をとっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

児童、保護者、教職員を対象に学校評価アンケートを実施し、学校活動に対して客観的な評価を行うことができた。子どもたちは、活動に対して意欲的に取り組んでいたが、与えられた課題だけでなく、現状を知ったり調べたりしていく上で子どもたち自身が課題や問題だと感じることを見つけて解決しようとする態度と、探求的に思考が続いていくような学習計画を立てることが必要だと感じた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

それぞれの活動後に、学年学級便りや学校便り、学校のホームページで活動の内容や、子どもたちの様子を伝え、家庭や地域への情報発信を行った。また、地域のケーブルテレビで放送をしてもらうことで、活動内容や、目的、子どもたちの様子を多くの人に知ってもらうことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

全国的にサバの養殖がめずらしいことから、「お嬢サバ」を新たな地域の特産品として目をつけて、その養殖の仕方について学んだり、サバを使ったオリジナルメニューを考えたりすることを中心に据えて学習していった。その際、鳥取法人会やJR西日本、地域の飲食店などと協働し、学習を進めた。特に、鳥取法人会が主催する「キッズカフェ」と連動し、お嬢サバについて学ぶだけでなく、子どもたちに働くことの意義や税金の仕組みなどについて学習した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

- ・ 山陰海岸ジオパーク内のジオサイトを見学することで、自然の美しさや生物の多様性について学習し、ふるさとが誇る自然を感じることができ、地域を大切にする気持ちを高めた。
- ・ 校区内保育所の年長児と「運動会」「お楽しみ会」など年間を通じて交流し、他者に優しく接する心地よさを体験するなかでコミュニケーションの力を高めた。（5年）
- ・ 地域の地質的特徴である砂地で「ラッキョウ」を作っている方の話を聞いたり、実際に漬ける体験をしたりすることを通して生産者の思いにふれることができた。（3年）
- ・ 学校行事「海の学校」で、磯の観察、遠泳、シーカヤック体験などを行った。その時は山陰海岸海と大地の自然館、博物館学芸員、地元高校生、赤十字奉仕団、ライフセイバー、地元船長会などの協力をいただき、充実し

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も、「生き生きと活力ある学校」、「地域の良さや特色が輝く学校」「地域とともに歩む学校」、この3つの学校づくりを柱に、活動を行う。

- ・ 人権教育参観日の実施
- ・ 国際理解教育（異文化体験座、出張英語村、ALTとの交流など）
- ・ 環境教育や山陰海岸ジオパークの見学や体験活動
- ・ 地域の方との交流（昔遊び、さつまいも、らっきょう植え）  
など

また、本校の学校活性化委員会や地域の方との連携を図り、年間を通してさらに充実した教育活動を行うことを目指したい。